

新聞・雑誌から見る現代日本

しんぶん ざっし み げん だい に ほん

■ 第25回 ■

だい かい

STOP 飲酒運転

いん しゅ うん てん

代行業者

だい こう ぎょう しゃ

大忙し

おおいそが

このコーナーでは、新聞・雑誌の記事を通して現代日本事情の紹介をするとともに、日本語を教える先生方が新聞・雑誌の記事などの生教材をどうやって教材化し、中・上級の日本語の授業にどう活用できるかを提案していきます。今回は飲酒運転に関する記事を取り上げ、実際の教室活動の流れにそって質問と記事を提示しました。

「読む前に」の部分は、記事に関する背景情報を提供することで、学習者がいきなり記事を読むのではなく、読む準備ができるようにすることを目的にしています。「読む前に」の質問は、学習者が話題に関してどんな情報やイメージを持っているかを引き出したり話し合ったりすることで、記事を読む意欲を高めることを狙っています。

「読もう」の部分は、ざっと目を通して大意を把握したりキーワードを取り出したりする大まかな読み方や、表現や構文を押さえて読む精密な読み方が含まれます。この部分の質問は、読み進めていく過程で必要なストラテジーの意識化を狙っています。

「読んだ後で」の質問は、学習者が読んだ記事の内容を整理し、自分の頭の中に作り上げたイメージを表現したり記事への反応を他の学習者と交換したりできるようにすることを目的にしています。

読む前に

よ まえ

今、私たちの生活に自動車はなくてはならないものです。多くの人々は自動車のおかげで便利な生活を送っていますが、その便利なものによって大切な一生を変えられてしまった人もいます。

日本で一年間にどれぐらいの交通事故が起きているか、みなさんは知っていますか。統計によると、2005年には、93万3828件の事故が起これ、115万人あまりが負傷、6871人が死亡しました。このうち飲酒運転による事故が原因で亡くなった人は707人を数え、交通事故の死者の10%以上にのぼります。1999年11月、東名高速道路で飲酒運転の大型トラックに追突された車が炎上し、幼い姉妹二人が犠牲になるという事故が起きました。この悲しい事故を受けて、2001年に「危険運転致死傷罪」という新しい法律ができ、2002年には道路交通法が改正されて、飲酒運転に対する罰則が厳しくなりました。

それ以後、飲酒運転事故は減少傾向を見せて

いましたが、増加に転じ始めた2006年8月、福岡でまた悲劇が起きました。一家5人の乗った車が、飲酒運転の車に追突されて橋から海に落ち、4歳、3歳、1歳の兄弟3人が亡くなったのです。以来、テレビや新聞では飲酒運転のことがそれまでより多く取り上げられるようになりました。

今回は、飲酒運転に対して日本の人々の意識がどのように変わったのか、大阪での様子について書かれた新聞記事を読んでみることにしましょう。

質問 1: みなさんの国では、飲酒運転の実態はどうなっていますか。また、飲酒の習慣がない国のみなさんは、飲酒についてどう思いますか。

参考ウェブサイト

・「図録▽交通事故件数・死者数の推移」

<http://www2.ttcn.ne.jp/~honkawa/6820.html>

・「警視庁 飲酒運転NO！」

<http://www.keishicho.metro.tokyo.jp/kotu/insyu/insyu.htm>

読もう

質問2： 本文を読む前に、見出しの言葉から記事の内容を予測してみましょう。

・「代行業者」とは何をする業者だと思いますか。また、誓約書を求める「店」とはどのような店
だと思いませんか。

質問3： この記事のキーワードをひろいながら読んでみましょう。六つあげるとしたら、どの言葉を選びますか。

産経新聞（朝刊） 2006年10月7日 「変わる繁華街 代行業者大忙し」『日本語教育通信』57号9ページに掲載している記事は、著作権の関係でホームページへ掲載できません。

質問4：リードの部分では、飲酒運転に対して世間の目が厳しくなった結果、どのような変化が起きてきたと
いっていますか。二つにまとめてみましょう。

質問5：本文の内容と合っているものはどれですか。番号で答えなさい。

- 1 以前、代行運転は都心部よりも地方で広く利用されていた。
- 2 運転する人の飲酒はお断りすることをメニューに書いた飲食店もある。
- 3 以前に比べると、特に近場よりも遠くへの利用者が増えた。
- 4 利用者の3割ぐらゐは、45分ぐらゐ待たなければならない。
- 5 飲酒運転して帰宅するドライバーは、まだたくさんいる。

読んだ後で

質問6：記事全体を読んで、内容を理解することはできましたか。もう一度、見出しの言葉に着目し、正しく
理解できたかを確認することにしましょう。次の①②について考えてください。

- ①「誓約書求める店も／それでも根絶遠く」の見出しを、言葉を補ってひとつの文にしてみましょう。
- ②「待ち時間45分」の小見出しについて、50字程度で具体的に説明してみましょう。

質問7：みなさんは、「飲酒運転」をなくすためにはどうしたらよいと思いますか。みんなで意見を述べあっ
てみましょう。

<解答例>

質問1：(省略)

質問2：代行業者：飲酒した人に代わって、車の運転をする業者。 誓約書を求める店：お酒を出す飲食店

質問3：飲酒運転 事故 世間 飲食店 客 代行業者

質問4：・都心部のドライバーの甘い意識が変わり、代行運転の利用が増えた。

・飲酒したドライバーに誓約書の提出を求めるなど、飲食店のなかには責任を果たすところも
出てきた。

質問5：1・2・5

質問6：①飲酒運転をしないようドライバーに誓約書を求める飲食店も出てきたが、それでも飲酒運転の
根絶にはほど遠い状況である。

②代行運転の利用が増えて車のやりくりが追いつかないため、週末には代行業者は客を最高45分も
待たせることもある。(53字)

質問7：(省略)

今回取り上げたテーマや練習案についてのご意見をお待ちしています。また、今回の記事を使って授業をしたときの様子や結果
などを編集部までお寄せください。このコーナーの担当：境田 徹、浜田盛男 (関西国際センター日本語教育専門員)